

保護者の皆様へ

豊橋市立下条小学校長 鈴木 立子

学校教育についてのアンケート結果について（保護者用）

お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございます。結果の集約ができましたのでお知らせします。

★項目①～⑧，⑱～㉑は児童数／項目⑨～⑰は世帯数（灰色部分）						回収率		上 下	各項目の 肯定人数 (A+B) 肯定率 %
	A (そう思う)	B (どちらかというと思う)	C (どちらかというと思わない)	D (そう思わない)	54 世帯中 児童数70名中	53 世帯 69 名分	98.1 %		
	A	B	C	D					
① 子どもたちは校訓のように「あかるく かしこく たくましく」育っている。	人数 38	27	4	0	69	①	65 人		
	% 55.1	39.1	5.8	0.0	100.0		94.2 %		
② 子どもは、毎日楽しく学校へ出かけている。	人数 37	26	6	0	69	②	63 人		
	% 53.6	37.7	8.7	0.0	100.0		91.3 %		
③ 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	人数 19	38	9	3	69	③	57 人		
	% 27.5	55.1	13.0	4.3	100.0		82.6 %		
④ 子どもは、友だちとなかよく楽しく生活している。	人数 38	31	0	0	69	④	69 人		
	% 55.1	44.9	0.0	0.0	100.0		100.0 %		
⑤ 子どもは、あいさつ・時間を守るなど基本的な生活習慣が身についている。	人数 31	33	4	1	69	⑤	64 人		
	% 44.9	47.8	5.8	1.4	100.0		92.8 %		
⑥ 子どもは、学校でのできごとや友だちのことを家でよく話す。	人数 40	25	4	0	69	⑥	65 人		
	% 58.0	36.2	5.8	0.0	100.0		94.2 %		
⑦ 子どもは、家庭学習や読書の習慣が身についている。	人数 27	25	17	0	69	⑦	52 人		
	% 39.1	36.2	24.6	0.0	100.0		75.4 %		
⑧ 子どもは、外で元気に遊んだり運動したりしている。	人数 42	23	4	0	69	⑧	65 人		
	% 60.9	33.3	5.8	0.0	100.0		94.2 %		
⑨ 学校は、さまざまな場を活用して教育方針をわかりやすく伝えている。	人数 21	25	7	0	53	⑨	46 人		
	% 39.6	47.2	13.2	0.0	100.0		86.8 %		
⑩ 学校は、子どものことについて相談に応じてくれる。	人数 21	26	6	0	53	⑩	47 人		
	% 39.6	49.1	11.3	0.0	100.0		88.7 %		
⑪ 学校は、子どもの学力向上をめざしわかりやすい授業をするよう努めている。	人数 22	23	6	2	53	⑪	45 人		
	% 41.5	43.4	11.3	3.8	100.0		84.9 %		
⑫ 学校は、授業を通して、子どもの「聞く力・話す力・関わる力」の育成に努めている。	人数 18	26	6	3	53	⑫	44 人		
	% 34.0	49.1	11.3	5.7	100.0		83.0 %		
⑬ 学校は、授業参観・行事など、気軽に出かけやすい雰囲気である。	人数 32	20	1	0	53	⑬	52 人		
	% 60.4	37.7	1.9	0.0	100.0		98.1 %		
⑭ 学校は、教育活動や子どもの様子をわかりやすく家庭に伝えている。	人数 21	26	6	0	53	⑭	47 人		
	% 39.6	49.1	11.3	0.0	100.0		88.7 %		
⑮ 学校は、不審者対策など子どもの安全管理に取り組んでいる。	人数 23	27	2	1	53	⑮	50 人		
	% 43.4	50.9	3.8	1.9	100.0		94.3 %		
⑯ 学校の施設・設備は、安全が確保されている。	人数 19	28	6	0	53	⑯	47 人		
	% 35.8	52.8	11.3	0.0	100.0		88.7 %		
⑰ 学校・家庭・校区が協力して子どもの教育を進めている。	人数 29	21	3	0	53	⑰	50 人		
	% 54.7	39.6	5.7	0.0	100.0		94.3 %		
⑱ 子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん・外遊び」を心がけている。	人数 34	32	3	0	69	⑱	66 人		
	% 49.3	46.4	4.3	0.0	100.0		95.7 %		
⑲ 子どもは、食べ物の好き嫌いをしないよう努力している。	人数 35	24	9	1	69	⑲	59 人		
	% 50.7	34.8	13.0	1.4	100.0		85.5 %		
⑳ 田畑での活動や育てている作物について家庭で話題になる。	人数 44	21	2	2	69	⑳	65 人		
	% 63.8	30.4	2.9	2.9	100.0		94.2 %		
㉑ 学校は、子どもたちに知識や技能、自分で考え実行する力などを育てている。	人数 22	23	7	1	53	㉑	45 人		
	% 41.5	43.4	13.2	1.9	100.0		84.9 %		
㉒ 学校は、子どもたちに他人と協調し、思いやる心や感動する心を育てている。	人数 22	24	7	0	53	㉒	46 人		
	% 41.5	45.3	13.2	0.0	100.0		86.8 %		
㉓ 学校は、子どもたちに必要な体力や、健康に気をつけて生活する意識を育てている。	人数 28	23	2	0	53	㉓	51 人		
	% 52.8	43.4	3.8	0.0	100.0		96.2 %		

※肯定率が90%以上の項目は①②④⑤⑥⑧⑬⑮⑰⑱⑲⑳㉑の12項目ありました。残りの項目も80%以上がほとんどであり、概ね本校の教育活動に対して理解していただいていると考えられます。

※③「授業の分かりやすさ、楽しさ」は、90%を下回りました。また、⑪「学校は、子どもの学力向上をめざしわかりやすい授業をするよう努めている。」と⑫「学校は、授業を通して、子どもの「聞く力・話す力・関わる力」の育成に努めている。」は85%を下回りました。今後も引き続き、教材や単元の導入などを工夫して子どもの興味を引いたり、構造的な板書やきめ細やかな個に応じた支援をしたりするなど、子どもたちがわかりやすく楽しく授業に取り組めるようにしていきたいと思ひます。また、授業の中にペアワークやグループ活動を取り入れるなど、友達と意見交換したり、発表したりする活動を多く設定し、聞く力・話す力・関わる力の育成に努めていきたいと思ひます。

※④「子どもは、友達となかよく楽しく生活している。」は100%となりました。休み時間には、高学年が低学年の子たちに気を配りながら仲よく遊ぶ姿が見られ、小規模校ならではの光景だと思ひます。今後も異学年交流などを通してかかわりを多くして、友達と仲よく楽しく学校生活が送れるようにしていきたいと思ひます。

※⑦「家庭学習や読書の習慣」は70%台という結果となりました。読書については、学校では年間3回の読書週間を設け、学年ごとの目標冊数・ページ数を設定し、読書に親しむように取り組んでいます。また、家庭学習については、学力の定着を図るとともに、家庭での学習習慣も重要であると考へており、学年に応じて宿題を出し取り組むようにしています。今後もご家庭でのご協力をお願いいたします。

※㉑、㉒、㉓の項目については、市教委から保護者の方へ調査の依頼があり、アンケートを取らせていただきました。

令和5年度 後期 学校教育アンケート《ご意見・要望等のまとめ》

令和6年1月16日

《木の遊具についてのご意見》

古くなっている木の遊具の安全面が心配です。子どもたちは木の遊具が大好きで、よく遊んでいるのを目にします。しかし、少し保護者としては危惧しております。なくしてしまうのも可哀想ですし、遊ばないように言うのも心苦しく何か良い策はないのかと思案しております。皆で考え、よい案があればと思います。お願い致します。

〈ご意見についての回答〉

木造遊具をはじめ校内の遊具については、1年に2回定期的に専門業者による保守点検を実施しています。その結果どの遊具も使用可の判定をいただいています。木造遊具は、使用上問題はありませんので、引き続き子どもたちに使用の仕方や安全に注意しながら使用していくようにしていきます。

《言葉遣いについてのご意見》

いつもご指導ありがとうございます。最近、何か嫌な事を言われると「死ぬ」「ウザイ」「キモイ」としか娘が返事をしません。身内でも嫌な気持ちなるのだから、他の人に言うてはいけないと伝えるのですが、上手な返しが思いつかないようです。聞くと、他の子や他の学年でもそういった事が多いとのことでした。先日TVやインターネットで見かけたのですが、学校で子ども同士、他人を傷つけない漫才やコントを作ってみる授業があるそうです。もしよければ少しでも構いません。取り入れて頂けたら幸いです。

〈ご意見についての回答〉

子どもたちが汚い言葉や人が嫌がる言葉をつかったときには、その都度注意をしています。また、道徳の授業で相手の気持ちを思いやる内容を扱ったり、学級活動の時間等にも言葉遣いについて話をしたりしています。低学年の子どもたちには、「ちくちくことば、ふわふわことば」を具体的に示しながら、言葉の使い方の指導をしていきたいと思っております。ご家庭でもその都度、その場に合った具体的な言い方について話していただけたらと思っております。

《持久走大会についてのご意見》

今年度から持久走が各学年になりましたが、同学年男女で走れるともっと楽しく参加できるのかなと感じます。時間的に長くなってしまふなどあるかと思っておりますが、ただでさえ苦手意識の高い持久走大会です（個人的ですが）ので、楽しくのぞめる様になるとありがたいなあ思います。

〈ご意見についての回答〉

持久走大会では、子どもたちへの励ましやご声援ありがとうございました。
昨年までの持久走大会は、中学年、高学年で男女別に実施していましたが、本年度も昨年と同様に実施した場合、10人を満たない人数で走る競技が生じ、競技としてあまりにも少人数になってしまうことから、本年度は、1、2年は学年ごと、3、4年は合同、5、6年も合同で実施しました。より多くの人数で走ることで、子どもたちはお互いに競い合い、昨年度以上タイムが伸びたのではないかと思います。来年度以降も、児童数を考慮しながら競技の編成を考えていきます。

《宿題についてのご意見》

- 1 いつもありがとうございます。毎日楽しく通えていてありがたいです。夏休みの宿題ですが、漢字など少し多いように感じました。いろいろな家庭があるとは思いますが、せっかくの長期休み、やりたいことをとことんできるように、選択的な宿題にしてもらえたらありがたいです。
- 2 夏休みの宿題ですが、他の学校に比べて多いと感じています。ワークなどの子どもだけで取り組むことが出来るものはよいのですが、工作や作文などは、低学年のうちやはり親の補助が必要です。共働き世帯がほとんどになっていると思います。親の休みが宿題の日になってしまい、親も子ども負担に感じているのも事実です。今一度、宿題について見直して頂けるとありがたいと思います。
- 3 6年生の宿題が少ないと思います。中学に向けもう少し増やして欲しい。自分で勉強する子ばかりではないのでは？

《ご意見についての回答》

宿題については、さまざまなご意見ありがとうございました。

日々の宿題については、さまざまなご意見があるかと思いますが、学力の定着だけでなく、家庭学習の習慣づけもあるため、どの子どもにも無理なく取り組める内容が大切であると考えています。子どもによって、宿題の量が多い少ないはあるかもしれませんが、もし、余裕があるようなら、自主的に家庭学習に取り組むようにするのもよいと思います。

また、夏休みの作文、工作やポスターなどの宿題については、市教委からの膨大な量の作品の応募と強い要請があり、学校としては、精選しながら対応し、子どもたちにあまり負担がかからないようにと考えています。長期休業だからこそ取り組める宿題も考慮しながら、内容や量については、検討していきたいと考えています。

《お礼》

小学校のスタートを下条小学校で決めて過ごし、本当によかったです。とてもいい小学校生活をスタートすることができて、感謝で一杯です。

◎個人的な内容のご意見につきましては、個別に対応させていただきました。

◎無記名のご意見につきましては、回答を控えさせていただきました。

◎ご意見、ご要望ありがとうございました。この内容につきまして職員会議や現職研修などで共通理解を図り、改善が必要な事柄につきましては今後見直しをしていきたいと思っています。児童の健やかな成長を支えるためにも、学校と保護者との相互理解が大切だと思います。これからもご理解とご協力をよろしくお願いします。